

# 大きな背もたれのついた ゆったり座れる「ベンチ」です。

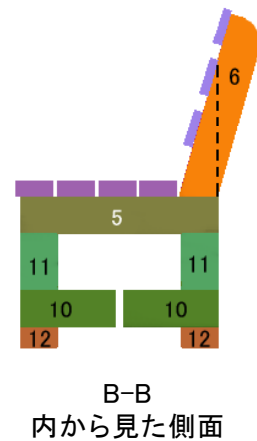
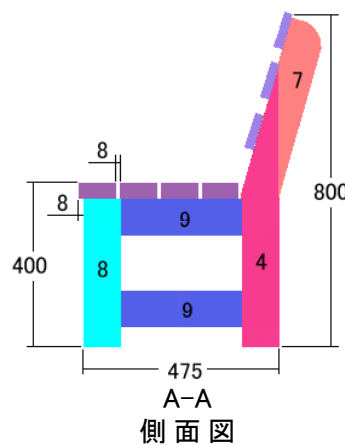
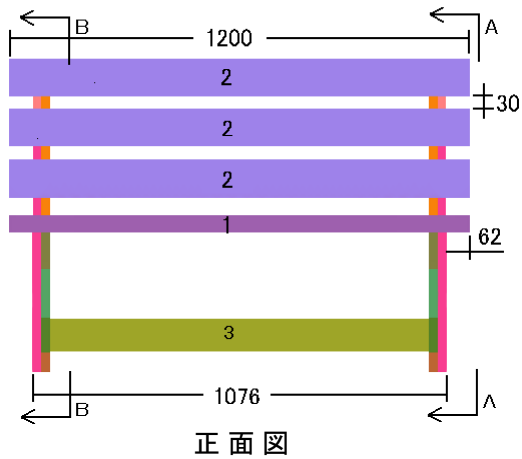


1×4材を貼り合わせたゆったりとした背もたれ付きのベンチです。大きなベンチですが、材料代もあまりかからず一人で作ることができます。



主に使用する道具  
ライフソー265、ソーガイド、クラフト145、インパクトドライバー、木エクランプ  
  
木工用ボンド、サンドペーパー、コンベックス、曲尺等

組み立て、貼り合わせの工程は、材料取り図のカラー及び番号に従って行って下さい。



## 1. 材料を切りそろえる

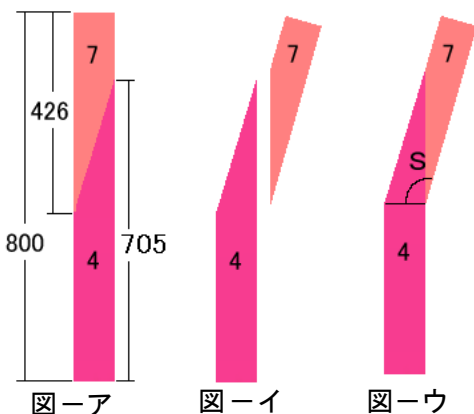


材料を切りそろえる前に木口は粗く直角が出ていないものがあります。5mmほど直角にカットしましょう。



材料取り図に従って部材を切りそろえましょう。

## 2. 脚を組み立てる



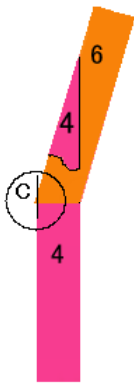
### 工程1 脚の部材7、4のカット及び貼り合わせ

部材7、4は、「もでりん」の材料取り図では別々に切り出しています。ここでは800mmに切り出し図ーアの寸法で斜めにカットしました。

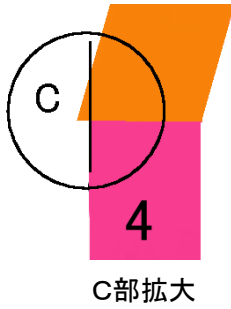
カットした部材7を図ーイのように反転させ、カットした面に木工用ボンドを塗り、図ーウのように貼り合わせます。

#### ワンポイント

作業台の上や平らな所で段差のないように貼り合わせましょう。

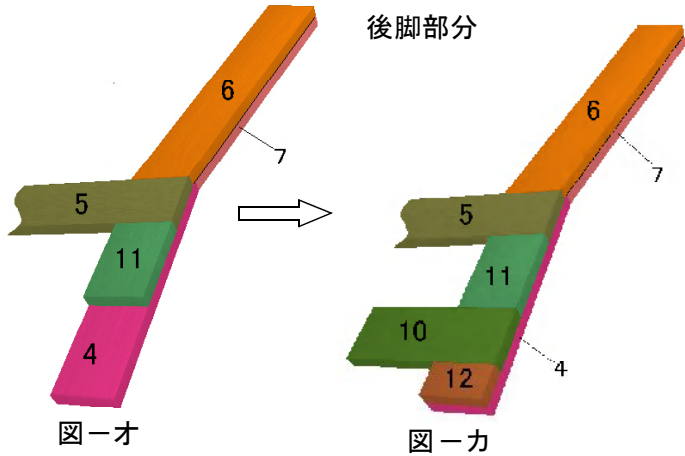


図一エ



### 工程2 部材6のカット及び部材4、7との貼り合わせ

部材6は材料取り図には74°としていますが実際は図一ウにあるSの角度を測り、その角度で部材6をカットします。角度切りした後、部材4、7に沿って部材6を木工用ボンドを塗り貼り合わせ木ネジで止めます。Cの部分を反対側の部材4に合わせて切り取って下さい。



図一オ

図一カ

### 工程3 部材11、12の貼り合わせ

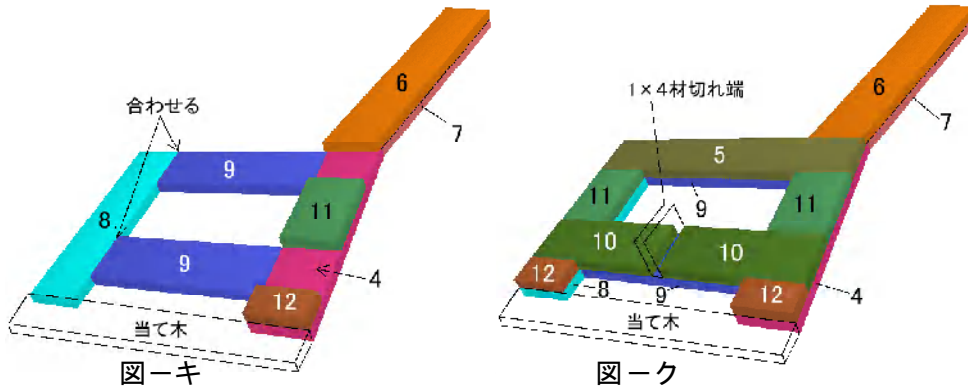
部材5が入る間隔を空けて部材11を貼り合わせます。同じように部材10が入る間隔を空けて部材12を貼り合わせます。貼り合わせは木工用ボンドを塗り、木ネジで留めます。

#### ワンポイント

- ①部材5、10が入る間隔を空けるのには実際に使用する部材5、10を仮に挟んで位置決めをします。
- ②部材12を貼り合わせる場合、外側の脚に合わせるため部材12は材料取り表の寸法より5mm程度長く切り出し最後に出た部分をカットします。
- ③ボンドを塗りすぎると、はみ出したボンドで仮に挟んだ部材5、10もくっついてしまうのでボンドの量に気をつけて下さい。

#### 注意

左右対象になります。同じ方向に組まないよう注意して下さい。



図一キ

図一ク

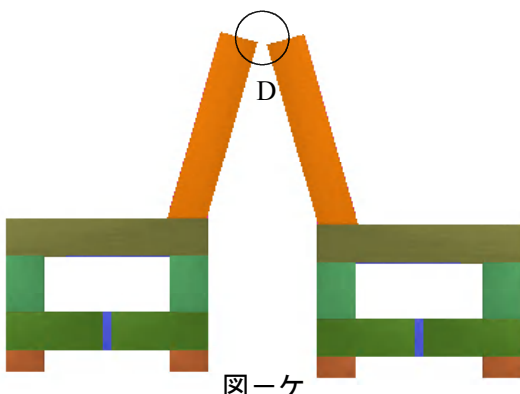
### 工程4 残りの脚の仮組・貼り合わせ

当て木を作業台に固定します。組み立てた後脚と部材8、9を図一キのように並べます。部材8、9を並べることで、5、10と前脚側の11、12の位置が決まります。5、10、11、12のそれぞれの位置を確認します。脚の位置決めができたなら、はじめに部材5を後脚に固定します。後脚からはみ出さないように押さえ、クランプで固定し8、9に木ネジで留めます。続いて前脚側の部材11後

脚側の部材10を留めます。隙間に1×4材の切れ端を仮に入れ、前脚側の部材10を取り付けます。最後に前脚側の部材12を取り付けて脚の組み立ては終了です。貼り合わせは必ず木工用ボンドを塗って下さい。脚の組み立てで使用した木ネジはすべて長さ32mmです。

#### ワンポイント

組み上がった脚の木口の角は120番のサンドペーパーで磨いておきます。背板を取り付ける側の裏側の(図一ケDの部分)角は大きく丸くするとよいでしょう。当て木は1×4を使用します。

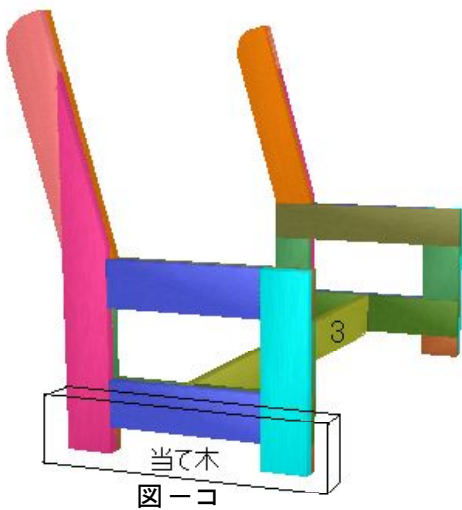


図一ケ

反対側も同じ要領で組み立てていきます。

#### 注意

脚は左右対称です。同じ方向に組まないよう注意して下さい。



図一コ

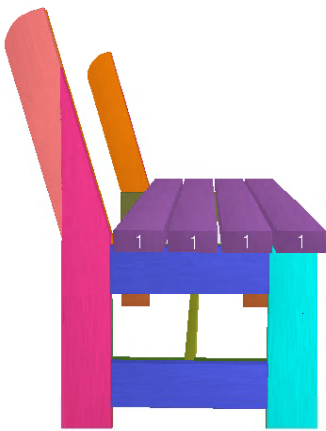
### 工程5 部材3の取り付け

作業台に当て木をクランプで固定し、当て木に片側の脚をクランプで固定して立たせます。部材3を挟み反対側の脚から接着し、木ネジで止めます。木ネジは長さ50~60mmを使用して下さい。同じように反対側も木ネジで留めます。

#### ワンポイント

木ネジが長いのでしっかりと中心に墨つけてから下穴を開けることがポイントです。

## 3. 座板、背板を取り付ける



図一サ

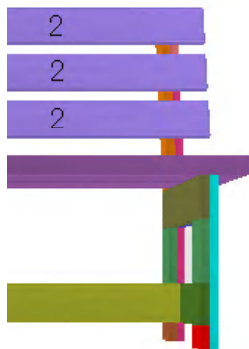
### 工程1 座板の取り付け

座板は前脚から取り付けて行きますが、前8mm 横62mmに出して留めます。

座板の前脚側は8mm前に出ていますので墨付け位置に注意して下さい。下穴を開けてから木ネジで片方2箇所(1枚計4箇所)ずつ留めていきます。座板同士の間隔も8mmです。木ネジは57mm使用しています。

#### ワンポイント

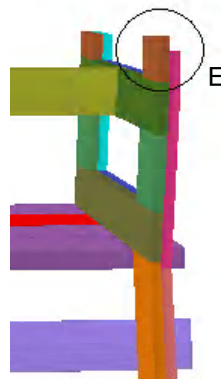
あまった材料で座板の8mmと背板の30mmのスペーサを作ると位置決めに便利です。



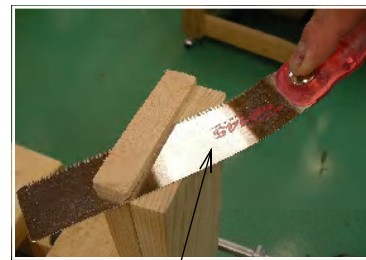
図一シ

### 工程2 背板の取り付け

背板は一番上の後脚の上部と合わせる様に留めます。下の二枚は30mmの間隔を開けて木ネジで留めます。



図一ス



クラフト145



E部分(部材12)のずれはクラフト145(埋木切りノコ)を使って飛び出した部分をカットします。

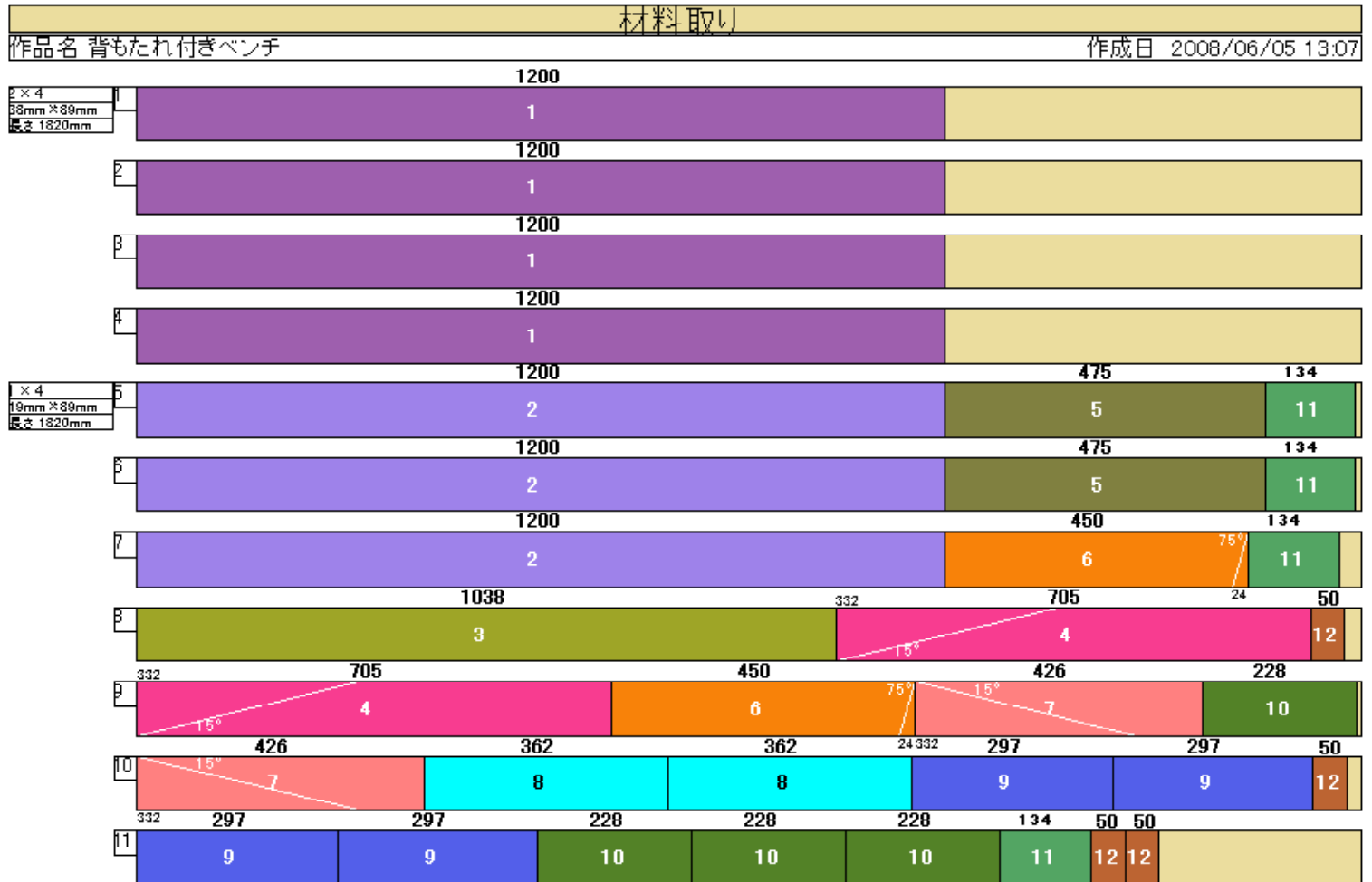


背もたれのついたゆったり座れるベンチの完成です。屋外でお使いの場合は、耐水性のある塗料でペイントしましょう。

部材7、4は、”もでりん”の材料取りでは別々に切り出しています。ここでは「2. 脚を組み立てる」の工程1のように切り出しました(図ーア参照)。

部材12は5mm程長めに切り出しましょう(図ース参照)。

**ワンポイント** 部材選びについては、曲がり、ねじりの少ないものを選びましょう。



	材料名	長さ	
1	2×4	(38.0mm×89mm)	1200mm 4本
2	1×4	(19.0mm×89mm)	1200mm 3本
3	1×4	(19.0mm×89mm)	1038mm 1本
4	1×4	(19.0mm×89mm)	705mm 2本
5	1×4	(19.0mm×89mm)	475mm 2本
6	1×4	(19.0mm×89mm)	450mm 2本
7	1×4	(19.0mm×89mm)	426mm 2本
8	1×4	(19.0mm×89mm)	362mm 2本
9	1×4	(19.0mm×89mm)	297mm 4本
10	1×4	(19.0mm×89mm)	228mm 4本
11	1×4	(19.0mm×89mm)	134mm 4本
12	1×4	(19.0mm×89mm)	50mm 4本

